

労働安全衛生の取り組み

安全衛生環境基本理念

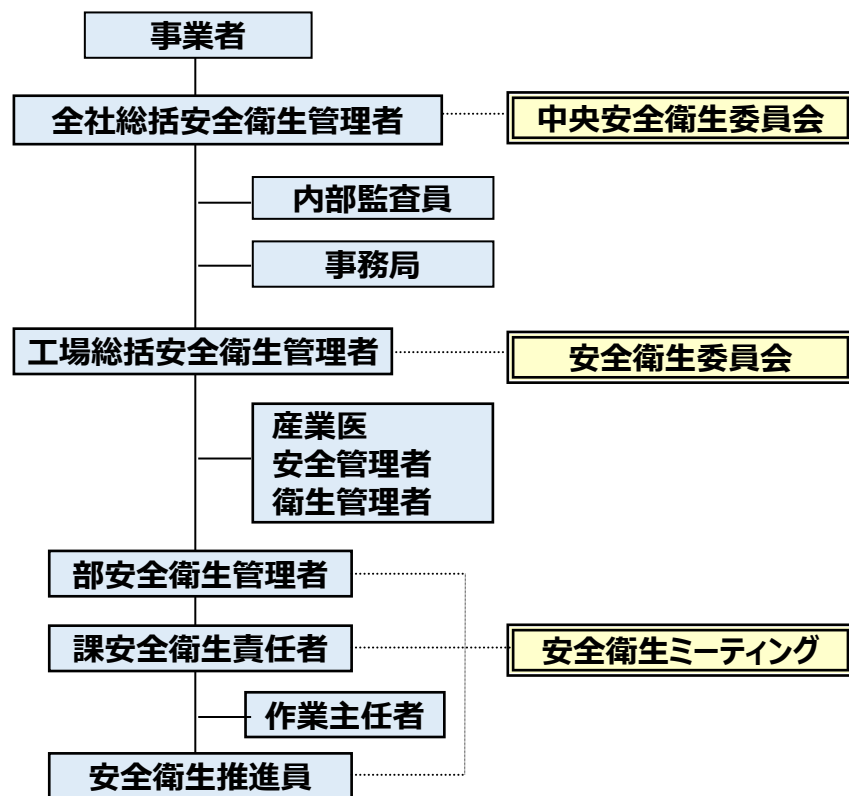
「従業員の安全と健康の確保が会社経営上の基本となる最重要課題」という認識のもと、総智総力を結集し、継続的改善活動を実践することにより、“災害・事故ゼロ”の安全で働きやすい職場づくりを目指す。

1. 従業員の協力のもと、良好なコミュニケーションにより安全衛生活動に取り組む。
2. 安全衛生に関する法令、及び、当社が同意するその他の要求事項を順守する。
3. 安全衛生リスクを管理し、マネジメントシステムの継続的改善に努める。
4. 快適な職場環境の形成により、従業員の疲労やストレスを軽減し、健康の確保に努める。
5. 計画的な教育・訓練・健康管理を実施することにより、従業員の安全衛生を確保する。

労働安全衛生の取り組み

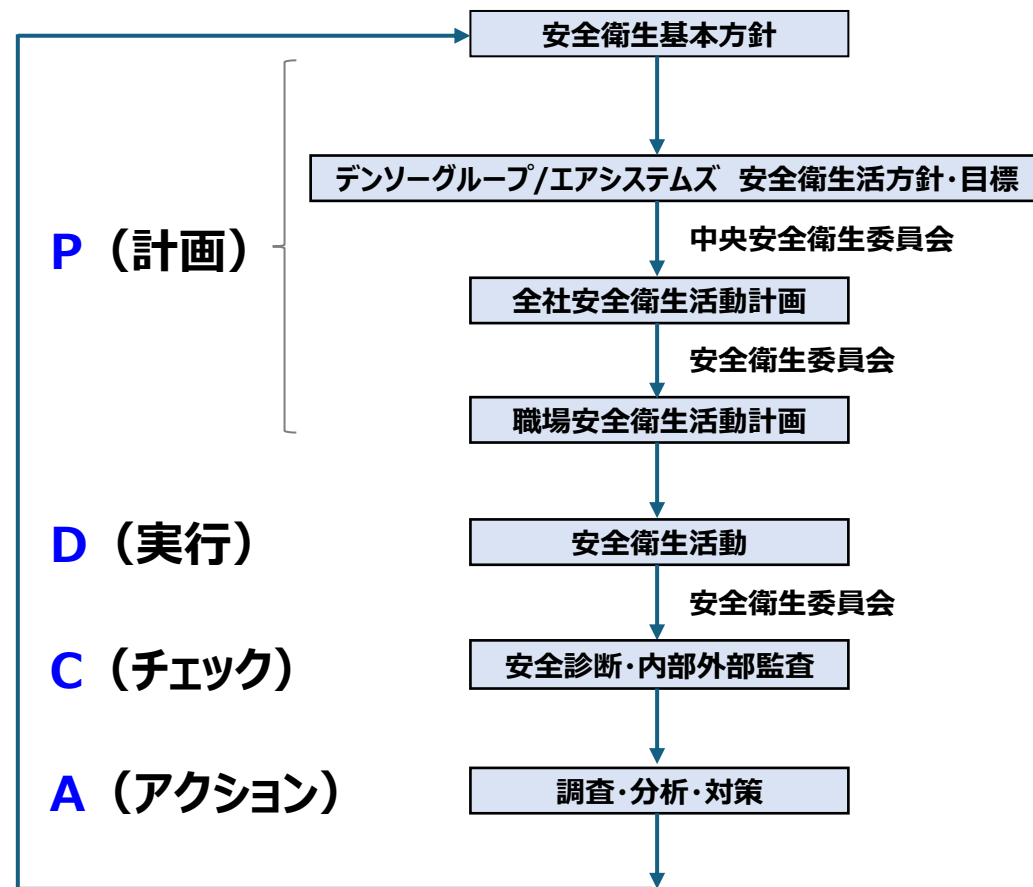
推進体制

事業者（全社総括安全衛生管理者）のもと、委員会を設置し安全衛生の継続的な向上に取り組んでいます。



労働安全衛生マネジメント

「労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格(ISO45001)」を参考にPDCAサイクルを回す事によって、継続的な労働安全衛生水準の向上を図っています。



労働安全衛生の取り組み

安全衛生に関するアセスメントの実施

- ◆ 新規ラインに対するアセスメントは、計画・設計段階からリスクを極力低減し安全性の高い設備を導入するため、設備導入安全基準を定め運用しています。設備・化学物質の危機源の特定を行い、安全基準に基づいてリスク低減策を策定し、設備設計に反映させ導入ます。
- ◆ 設備の完成後は、生産ラインでの作業内容、及び、環境に焦点を当ててリスクアセスメントを実施し、抽出されたリスクについては、物理的な安全対策や教育・訓練・作業要領書への反映などを行い、リスクレベルの低下を図っています。
- ◆ 既存ラインに対するアセスメントは、安全衛生マネジメントシステムの一環として経営層によるトップ巡回を行い、安全最優先の徹底を図っています。

安全衛生活動

- ✓ 爆発火災防止
 - ・恒久対策として決めたことの維持管理と緊急時対応・訓練の実施
- ✓ リスクアセスメント実施と公開作業確認会
 - ・リスクアセスメント評価とヒヤリハット抽出による潜在的リスクの洗い出し
 - ・職場全員でのリスク共有
 - ・リスクアセスメント教育の実施
- ✓ 設備物的対策
 - ・安全基準に順じた継続的な物的対策の推進
 - ・異常処置の危険感知能力向上教育による安全意識向上
- ✓ やりにくい作業撲滅 社長巡回
 - ・やり難い作業の打上げ・改善と現地でのやり難い作業確認
- ✓ 外来工事作業者の安全確保
 - ・構内で施設・設備の設置・改造移転等を行う関係会社とともに、構内作業マニュアルを定め、安全教育や安全パトロールなど構内作業における災害防止を図っています。



労働安全衛生の取り組み

安全成績

	2022年度		2023年度		2024年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
1種災害 ※1	0件	0件	0件	0件	0件	0件
爆発火災災害	0件	0件	0件	0件	0件	0件
外来工事災害	0件	1件 (ヒヤリ ケガ無)	0件	0件	0件	0件

※1：機械作動部、運搬機器（動力に起因する）、重量物（腰痛除く）、薬液、高熱物、低温物、飛来物による災害及びガスによる急性毒性等

今後の取り組み

安全と健康に配慮した働きやすい職場環境に向けた取り組みはますます重要になってきています。爆発火災・重大災害などを出さない体制づくりや、基本的なルール順守で安全最優先行動の実践、災害教訓の風化防止のための活動に取り組み、災害ゼロの職場づくりに取り組んでいきます。